

## シラバス

教科名	家庭	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
	1 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。
	2 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けることができる。
学年の目標	3 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。
	1 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食生活等についての基礎的な知識について理解し、それらに係わる基礎的な技能を身に付けることができる。
	2 家庭の生活課題に目を向け、解決策や適切な対応について主体的に考え、表現する力や生活を工夫しながらより良い生活を送ることができるよう、自ら実践する態度を身に付けることができる。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 (10 11)	4	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・自立した家庭生活について	<b>【知識及び技能】</b> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活や学校生活が家族や地域の人々の協力によって円滑に営まれていることに気付くことができる。 ・家庭生活において、幼児や高齢者など様々な人々と共に協力し、助け合って生活することが大切であると気付くことができる。 <b>【思考、判断力、表現力】</b> ・家族や地域の人々とのより良い関わり方について考え、表現することができる。 ・家庭生活における家庭の役割について考えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・家庭生活の構成員としての自覚をもち、自分の生活の自立を目指し、自らすすんで家庭生活を営み、協力しようとする態度を身に付けることができる。	1 自分らしい人生をつくる (1) 生涯発達の視点 ア 生涯発達の視点 (2) 青年期の課題 (3) 自分について考える (4) 自立について 2 人生をつくる (1) 暮らしについて 3 家族・家庭を見つめる (1) 家庭について (2) 家族・家庭の形について (3) 家族と法律について 【社会：国や社会の仕組み】	<b>【知識・技能】</b> 1 段階：自己の成長と家庭生活の関係について知ることができる。 2 段階：自己の成長と家庭生活の関係について知り、家族や地域の人々と協力し、助け合うことで円滑な生活を営むことができることを知ることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 1 段階：家庭の役割について知り、適切な関わり方について考えることができる。 2 段階：家族との適切な関わり方や家庭での自分の役割について考え、表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 1 段階：家庭生活におけるそれぞれの役割について気付くことができる。 2 段階：家庭生活を営む上で、お互いが協力することの大切さに気付くことができる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技
4 5 (10 11)	6	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・乳幼児の生活について	<b>【知識及び技能】</b> ・乳幼児の発達と生活の特徴が分かり、乳幼児との適切な関わり方について知ることができる。 ・乳幼児の生活課題とその対処法について知ることができる。 <b>【思考、判断力、表現力】</b> ・乳幼児とのより良い関わり方について考え、自分ができることについて表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・家庭生活を営む上で、お互いが協力しあうことの大切さに気づき、自らすすんで協力しようとする態度を身に付けることができる。	1 乳幼児期の特徴 (1) 乳児の心身の発達 (2) 乳幼児の生活と成長 (3) これからの保育環境 (4) 子育てを支える制度と子どもの権利 【社会：国や社会の仕組み】 【保健体育：妊娠・出産】	<b>【知識・技能】</b> 1 段階：乳幼児の発達段階と乳幼児の心身の特徴について知ることができる。 2 段階：乳幼児の生活課題とその対処法を知ることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 1 段階：乳幼児との適切な関わり方について考え、表現することができる。 2 段階：乳幼児との適切な関わり方や子育て中の注意点について知り、適切な行動について考え、判断することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 1 段階：家庭生活では、お互いに協力し合いながら生活することが大切だと気付くことができる。 2 段階：家庭生活では、お互いに協力し合いながら生活することが大切だと気づき、意識して行動することができる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技

6 7 (12 1)	13	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・衣生活について	<b>【知識及び技能】</b> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、衣服の役割と選択、適切な管理方法について理解することができる。 ・目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用することができる。 <b>【思考、判断力、表現力】</b> ・衣服の適切な管理方法について考え、素材や取扱い絵表示に応じた洗濯、手入れの方法について判断することができる。 ・目的に応じた縫い方について考え、表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度を身に付けることができる。	1 衣生活 (1) 被服の役割 ア 高校生の衣生活について イ 衣服の役割について（保健衛生機能、社会的機能など） 2 被服を入手する (1) 被服の入手方法について (2) 被服と繊維、取扱い表示について [数学：図形] 3 被服を管理する (1) 衣服の手入れ（洗濯、漂白、仕上げ、保管、シミの処理、アイロンがけ（ワイシャツの（襟、袖）） 4 被服実習 (1) 裁縫道具とその取扱いについて (2) 手縫い（基礎縫い、ボタン付け）	<b>【知識・技能】</b> 1 段階：衣服の役割と管理方法について知ることができる。 2 段階：衣服の素材に応じた管理方法を知ることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 1 段階：取扱い表示を見て、衣服に応じた適切な管理方法について考え、判断することができる。 2 段階：用具の安全な取扱いについて知り、目的に応じた縫い方を考え、表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 1 段階：衣生活の充実によって生活が豊かになり、自己表現することができることに気付くことができる。 2 段階：生活をより豊かにする上での衣生活の果たす役割と大切さに気付くことができる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技
		〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・食生活について	<b>【知識及び技能】</b> ・生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について知り、基礎的な調理ができる。 <b>【思考、判断力、表現力】</b> ・健康によい食習慣、栄養バランスのとれた食事について考えることができる。 ・基礎的な日常食の調理について、調理の仕方を考えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度を身に付けることができる。	1 食生活 (1) 食生活の課題について ア 「食べる」とは (2) 青年期の食生活の課題について 2 食事と栄養・食品 (1) 生涯の健康と食事 (2) 栄養と栄養素 [数学：グラフ] 3 調理実習 (1) 食材、調理器具、調理家電の適切な取扱い（使用方法） [国語：読む] (2) 米の研ぎ方、火の使い方、包丁の使い方など (例：おにぎり、みそ汁、副菜など)	<b>【知識・技能】</b> 1 段階：食事の役割について知ることができる。 2 段階：栄養素と栄養バランスのとれた食事について知り、調理用具を適切に使用して簡単な調理をすることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 1 段階：栄養バランスのとれた献立を考えることができる。 2 段階：安全な調理器具の使用方法について考え、表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 1 段階：食生活の充実によって生活が豊かになり、健康的な生活ができると気付くことができる。 2 段階：生活をより豊かにする上での食生活の果たす役割と大切さに気付くことができる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技
8 9 (2 3)	12				